

来年の大河ドラマで注目の天下人・家康 その生母「於大の方／伝通院」様を敬う

「伝通院様 420 回忌記念法要」10月15日開催

創設42年を迎える徳川幕臣の子孫が集う「柳営会」が伝通院で記念法要を実施

柳営会（会長：植村 泰佳）は、2022年10月15日（土曜日）に於大の方菩提寺・小石川 伝通院にて、「家康・生母 於大の方（伝通院）様 420 回忌記念法要」を実施いたします。

来年の大河ドラマ「どうする家康」の放送前に天下人・家康を生み、幼くして離ればなれになりながらも生涯に渡り家康を支え、戦乱の世から平安な世への願いを息子・家康に託した、於大の方の御命日に420回忌を記念して、その菩提寺である小石川・伝通院にて、徳川譜代の家臣団の子孫が集まり記念法要を開催致します。

【Web ページ】 ryuueikai.org



於大の方は享禄元年（1528）、三河刈屋城主水野忠政の娘として生まれ、天文10年（1541）、当時では武士の権力の取り引きとして通常に行われていた攻略結婚により、岡崎城主松平広忠と結婚し、翌年男子を出産した。これが竹千代、後の徳川家康となる。しかし、父水野忠政が病死した後、刈屋城を継いだ兄信元が織田方に付いたので、今川氏の保護を受けていた広忠は、天文13年（1545）、於大を離縁して刈屋に帰すこととなった。その後於大は、阿久比城主久松俊勝に再嫁したが、家康が織田方の人質となってからも常に衣服や菓子を贈って見舞い、音信を絶やすことがなかったと伝えられている。家康も生母の至情を忘れることなく、天下統一の後には、再婚しているにも拘わらず、実家の者として於大を迎え入れ、久松家を親戚として尊重した。夫の久松俊勝逝去の後には髪をおろし「傳通院」と号した。家康の天下統一を見て、慶長7年（1602）8月29日（西暦10月13日）、家康の滞在する伏見城にて逝去。

伝通院 HP より

於大の方（伝通院）様 420 回忌記念法要

本記念法要は、柳営会／徳川譜代家臣団の子孫達が小石川「伝通院」にて開催する記念法要です。

【開催概要】

イベント名称 : 「於大の方（伝通院）様 420 回忌記念法要」
開催期間 : 2022年10月15日（土）11時から12時 特別法要、講話
家康と伝通院
非公開の「当麻曼陀羅」等拝観
12時から 墓参、墓前読経
13時から15時 特別料理「於大の方膳」 書院
竹千代／家康への母の思いを三河の厳選食材で

開催場所 : 小石川・伝通院（住所：〒112-0002 東京都文京区小石川3丁目14-6）
本堂

伝通院ホームページ : <http://www.denzuin.or.jp/>

*尚、当日のスケジュールは、天候その他の状況で変更になる場合もあります。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

柳営会 担当：竹本／TEL：090-2650-5993 MAIL：ryueikaipr@gmail.com HP：ryuueikai.org/

於大の方（伝通院）様 420 回忌記念法要

参加予定の主なメンバー紹介

- ・水野信元 子孫（第 20 代水野家当主）（於大の方実家）
- ・久松俊勝（長家） 子孫（於大の方の再婚先、家康異母兄弟の父）
- ・本多作左衛門 子孫（三河三奉行・鬼作左）
- ・柴田勝家 子孫
- ・竹本正雅 子孫（8代将軍・吉宗・側室・古牟、田安宗武の生母/外国奉行）
- ・村垣範正 子孫（幕末・外国奉行/万延元年遣米使節副使）

柳営会について

柳営会とは・・・

徳川将軍家譜代の大名、旗本並びに御家人（大概順「御目見以下」記載の者など徳川幕府から禄をいただいていた者）等の幕臣の子孫が集う会です。

柳営会発足の経緯 1980 年発足

日光東照宮例大祭には、毎年徳川御宗家が祭主としてご参拝になっておられます。ある時、参列者の中から「旧幕臣の子孫のお供がないのは寂しい」という声があり、昭和 55（1980）年 5 月 16 日、日光東照宮研修会館に有志が集い、会結成を話し合いました。そして例大祭当日の 17 日早朝、輪王寺本坊玄関前で有志が初めて御宗家ご夫妻にご挨拶申し上げ、前夜決定した会の名称「柳営会」のご承認をいただき、会が発足いたしました。

柳営とは、名将軍の陣営を呼称する中国の故事に由来し、江戸時代には「幕府及び将軍」を意味する固有名詞として知られていたことから、当会に相応しい名称として採用されたものです。

会の活動

江戸幕府で活躍した先祖の業績を誇りに思う子孫が、徳川御宗家を中心に結集し、正しい目で江戸時代を見直し、先祖を偲び、その精神を引き継ぎたいという目的で集まった、要するに精神的繋がりを大切にする素朴な会であるので、会員は旧幕時における家格には関係なく平等の立場に置かれています。当会では次のような事項につき、話し合いにより運営がなされています。

1. 徳川将軍家および各家の先祖の顕彰とその業績の研究
2. 江戸時代の正しい認識と系譜・資料・記録などの収集保存
3. 徳川御宗家を中心とした会員相互の親睦および研修旅行
4. 会の記録と広報（月報「柳営会たより」、会誌「柳営」の発行）
5. その他、会設立の精神に沿う活動

会員資格

徳川将軍家の譜代の大名、旗本、御家人、その他徳川幕府から禄をいただいていた者の子孫を会員資格者とする。

なお子孫とは、徳川幕府から禄をいただいた者の直接の後裔であることを証明できる者であって、嫡系、傍系、男系、女系の別を問わない。



日光東照宮 四百年式年大祭 平成27年5月17日

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

柳営会 担当：竹本 / TEL : 090-2650-5993 MAIL : ryueikaipr@gmail.com HP: ryuueikai.org/